

スローライフまちづくり全国都市会議・スローライフ憲章

平成15年から始まった「スローライフまちづくり全国都市会議」において、私たちは、スピードや効率性は大切にしつつも、都市環境や市民生活のありようについて本質を見極め、先人より培われ今に息づく「ほんもの」を大切にす
る価値観により、一人ひとりがより人間らしく自然に、ゆっくり、ゆったり、
豊かな心で生きていけるような社会「スローライフのまちづくり」が必要であ
ると提唱してまいりました。そして、「スローライフ」によるまちづくりの方策
を相互に研究し意見を交換することにより、魅力的で個性豊かなまちづくりに
寄与することを目的に活動をしてまいりました。

これからのまちづくりや人づくりには、大量生産・大量消費社会への反省から、
スピードや効率性だけでなく、人の存在意義を見つめ、自然の豊かさを実感で
き、地域の個性を大切にし、人と人が助け合う風土を築く姿勢が求められてお
ります。

私たちは、「住んで良かった」「来て良かった」と思えるスローライフのまち
づくりを、市民との協働により推進し、地方という「個」がそれぞれに輝く未
来型地域社会の実現をめざして、ここに憲章を定めます。

1、ふるさとの自然や先人が培ってきた伝統文化を継承し、まちづくりへの活 用に努めます。

それぞれの地域には、貴重な自然や伝統文化がたくさん残されていますが、日々の“ス
ピードライフ”な生活の中に埋もれています。スローライフな視点で個性あふれる貴重な
財産を発掘していきます。

1、活動に際しては、結果とともにその過程を大切にします。

活動の結果もちろん重要ですが、活動する過程で得られた発見や住民の意識の変化な
ど、活動によって動き出した小さな変化を大切にしていきます。

1、それぞれの自主性と多様性を認め合い、個性豊かなまちづくりをめざしま す。

利便性向上と合理化を追求する過程の中で見失ってきたものがたくさんあります。多く
の人の目にとまらなくとも、それぞれが持つ歴史や背景に敬意を払い交流を深め、住民の
心が豊かになれるまちづくりをめざしていきます。

1、消費生産の繰り返しではなく、今あるものを大切に、持続可能な社会を 目指すとともに地域の誇りを育てます。

今まで何気なく見過ごしてしまっているものを、あらためて見直してみましょう。先人
が残してくれた貴重な財産を浪費せず、環境にも配慮し、持続可能な社会をめざすこと
も重要です。また、郷土の自然と豊かな歴史を慈しむとともに、地産地消を呼びかけ、郷土
料理や伝統食を伝え、伝統工芸や職人の技を守り育てるなど、ふるさとを学び伝統文化の
理解を深め、地域の個性を尊重しつつ新たな価値を創造していきます。

(平成19年9月22日制定)